

## かけがえのない夏

不安な気持ちで旅立ち、それが自信となって返ってきたかけがえのない9日間だった。

初日に行ったハワイ日本文化センターでは現地日系人の歴史が今では考えられないほど壮絶なものであったことを知った。

パールハーバーでは写真で見えていたよりスケールの大きい戦艦ミズーリ号、想像の何倍も被害が少なかった神風特攻機衝突の跡、そして真珠湾攻撃をアメリカからの視点で見ることができ、たくさんの驚きと発見があった。これらのことを戦後80周年という節目に目の当たりにできたことは、毎年の終戦記念日を迎えるにあたり平和についてより深く考えるきっかけになると思う。

最もかけがえのない思い出はやはりファミリーと過ごした期間だ。ワイパフ高校で初めてファミリーと会った時の緊張感は忘れられない。自分の英語では伝わらないだろう...と尻込みをして伝えたいことをはっきりと伝えることができなかつた初日だった。だが、ファミリーたちは温かく迎え入れてくれて何度も“Don't be shy!”と私を和ませてくれた。ビーチや水族館などたくさんの場所に連れて行ってもらい、美しい景色が脳裏に焼き付くとともに将来の夢である海洋研究者という視点からこの美しい景観を守らなければならないと感じた。また、毎日マザーの夕飯とデザート作りの手伝いをしている中で見たことがない調味料や食べたことのない料理に出会えたことも料理好

きな私にとってとても良い体験だった。

そして、一番嬉しかった瞬間は何より自分の英語が伝わった瞬間だ。毎日のようにマザーの親戚の方たちが会いに来てくれて、私にたくさん話しかけてくれた。話す速さに驚きながらも、おしゃべりが大好きな私はとにかく話した。すると、マザーのおばさんが“あなたの英語は上手よ、自信を持ってね”と言ってくれ、初めて自分の英語に自信がついた。ファミリーであるアヤとアンジェリカと流行りのダンスを踊り、ハワイと日本の流行について話したときはまるで自分が英語に不安を抱いていたと思えないほど楽しめた。また、もっと英語を学んでから再びファミリーに会いたいという目標もできた。

マーケットのおばさん、ワイパフ高校、アイランド・パシフィック・アカデミーでできた友達、マザーの親戚、本当の家族のように私を大切にしてくれたホストファミリー、そして出発前から共に過ごした派遣のメンバー。たくさんの人と出会い、人の繋がりの大切さを実感したかけがえのない夏だった。

